

第7回見学会

荒川中流部を訪ねる

荒川第一調節池・朝霞調節池見学会



母なる川「荒川」、その名前のおとおり、荒川は過去幾度となく荒れ、地域に水害による被害を与えてきました。一方、荒川の水は、広く農業用水や発電用水、水道用水として利用され、地域の人々に多くの恩恵を与えるとともに地域の発展を支えてきました。

この荒川は、江戸時代初期の付替工事(利根川の東遷、荒川の西遷)と明治から昭和初期の荒川放水路の建設という2つの大きな付替事業により今の形がほぼ作られました。

流域内に埼玉県と東京都をもち、流域内人口は約 930 万人、武蔵水路経由で利根川上流ダム群から来る水も含めた荒川の水利用人口は流域外を含めて約 1500 万人と、治水上也利水上も重要な河川です。平均川幅 1500m、日本一川幅の広い箇所(2500m)、他の河川には見られない26本の横堤群、河川敷に残る豊かな自然など多くの特徴をもつ荒川。その荒川の中流部における治水・利水について学びます。

下記のとおり実施しますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

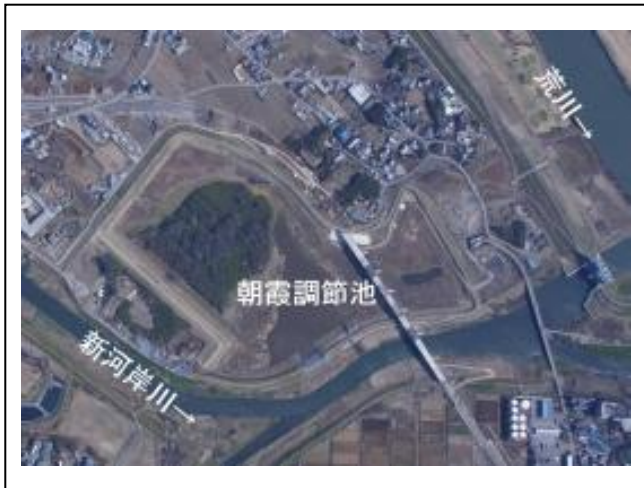
日 時	3月4日(日)	8:30集合
集合場所	JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)	
参加費	1,000円(資料、交通費、保険料の一部として)	
募集人数	45名(先着順)	boumatijyuku@yahoo.co.jp 携帯 080-4006-8819 FAX 043-274-8151
行 程	8:30 出発(集合次第出発します)	
	10:30 埼玉県立 川の博物館	
	12:00 昼食(各自持参をお願いします。)	
	14:00	荒川第一調節池(彩湖自然学習センター) 見学
	15:00	朝霞調節池 見学
	17:00	JR新小岩駅 東北広場 到着(道路状況により流動的です。)

市民防災まちづくり塾・関東建設弘済会

荒川第一調節池

荒川第一調節池は、治水を目的にした直轄河川改修事業と、利水を目的にした荒川調節池総合開発事業の共同事業で造られています。このうち荒川調節池総合開発事業は、平成9年3月に貯水池「彩湖」を完成させ、現在は水の統合的な管理の下で都市用水を供給しています。

また、直轄河川改修事業としての荒川第一調節池は平成15年度に完成しました。



朝霞調節池

朝霞調節池は新河岸川の総合治水対策の一環として整備しています。

洪水時に越流堤から洪水が調節池に流入し、下流へ流れる量をカットします。

埼玉県立 川の博物館

当館の目的は、「埼玉の母なる川-荒川を中心とする河川や水と人々のくらしとのかかわり」を様々な体験学習をとおして、理解してもらおうとすることです。また、近年人々にとってきわめて密接な課題となってきた環境保護についても、河川の浄化や水循環の視点から身近な問題としてとらえてもらうことをねらいとしています。その手法として、一方的に情報を与えるのではなく、「楽しみながら学べる体験型博物館」として、誰でも水に親しみながら憩い、楽しく学べる博物館を目指しています。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

